

都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査（平成27年度）

人口減少、少子高齢化等を踏まえた計画的な土地利用コントロールによる緑地・農地と調和した都市環境の形成や、農産物の供給や防災空間の確保等の都市農業の多様な機能の発揮に関する取組を即地的に検討する直轄調査を行う。

調査内容のイメージ

即地的な検討を行うため、地方公共団体等への委託（国庫委託金）による国の直轄調査を実施

地域における緑・農と共生するまちづくりに関する課題（右欄のテーマ①～⑤）の解決に向けた取組を公募

地方公共団体等が取組を提案

第三者委員会により提案を選定

地方公共団体等と委託契約を締結し、地域の状況に即した実証調査を実施

テーマ① 都市機能や居住機能の集約を誘導するエリアにおいて、魅力ある都市空間を形成するための緑地・農地の保全・創出・活用

例)・市街地における生態系ネットワークの形成手法・モニタリング手法検討
・屋敷林等の小規模民有林の保全・活用手法検討

テーマ② 居住等の機能の集約を誘導するエリアの外側において、緑と共生する地域を形成するための緑地・農地の保全・創出・活用

例)・居住等を誘導するエリア内への公共施設や住宅等の移転跡地を緑地等として整備・管理を促す手法検討
・福祉的な用途で管理するなど、高齢者等が暮らしやすいまちづくりの推進のための農地管理手法検討

テーマ③ 三大都市圏特定市等における市街化区域内農地（生産緑地・宅地化農地）の保全・活用

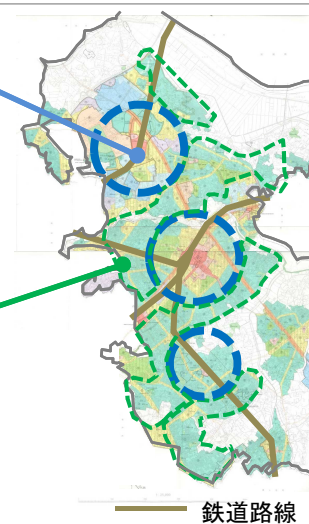
例)・生産緑地において市民農園・体験農園を進めるに当たっての課題把握
・小規模な農地についての機能評価や保全・活用方策検討

テーマ④ 地方都市における市街化区域内農地の保全・活用

例)・農地の公共性・多面的機能に関する客観的評価
・農地保全制度の導入に当たっての地域全体での税の公平性等の観点からの評価

テーマ⑤ 都市農業の継続・振興

例)・既存の制度について都市農業者が利用する上での課題把握、改善点の検討



都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査（平成27年度）

募集概要

[募集内容]

緑地・農地と調和した都市環境を形成することや都市農業の多様な機能の発揮を促進するための取組を提案

(募集テーマ)

- ①都市機能や居住機能の集約を誘導するエリアにおいて、魅力ある都市空間を形成するための緑地・農地の保全・創出・活用
- ②居住等の機能の集約を誘導するエリアの外側において緑と共生する地域を形成するための緑地・農地の保全・創出・活用
- ③三大都市圏特定市等における市街化区域内農地（生産緑地・宅地化農地）の保全・活用
- ④地方都市における市街化区域内農地の保全
- ⑤都市農業の継続・振興

[応募主体]

- 地方公共団体
- 地方公共団体を構成員に含む団体（協議会等）等

[委託経費]

1件あたり原則500～800万円程度

[採択件数]

予算の範囲内で採択

[委託期間]

契約締結日の翌日～平成28年3月上旬

スケジュール

応募書類提出期間 平成27年3月20日(金)
～4月24日(金)17:00

評価委員会の開催・選定結果通知 (5月下旬予定)

現地視察・ヒアリング (選定結果通知後～)

契約の締結

取組結果の報告会 (平成28年2月中旬予定)

※平成27年度当初予算の成立時期によっては、変更が生じる可能性があります。

提案の評価方法

募集テーマに沿った提案について、以下の評価方針に基づき、有識者からなる評価委員会で評価し、選定団体を決定する。

- 提案する取組と本調査の趣旨との整合性
- 提案する取組の先導性、汎用性
- 提案する取組の実現性